

令和3年度学校自己評価システムシート (県立本庄高等学校 定時制課程)

目指す学校像	生徒一人ひとりを大切にし、社会で活躍し人生を豊かに生きる生徒を育成する。
--------	--------------------------------------

重点目標	1 「わかる授業」を実現する授業の工夫改善を進め、基礎学力の向上を図る。 2 家庭との連携と生徒指導の充実を図り、基本的な生活習慣の確立に努める。 3 進路意識と社会で生きて働く人間性や社会性を育て、希望する進路を実現する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	学習歴や習熟度、日本語活用能力等に著しい差があるため、個に応じた「わかる授業」を実践し、主体的・対話的で深い学びのための授業改善を図り、社会で活躍し人生を豊かに生きる「基礎基本」を身につけさせる必要がある。	「わかる授業」、「きめ細かい指導」の実践に取り組む。	①「わかる授業」実践に向けた授業の工夫改善のほか、習熟度別授業や学習サポーターによる学習支援を進める。 ②プロジェクターやタブレットを利用し「わかり、引きつける」授業を行い、年間を通じての学習保障を行う。	①授業アンケート「授業の内容を理解できている」が前年比向上したか。 ②授業アンケート「指示に従って授業を受けている」が前年比向上したか。		
		多様な生徒の実情を踏まえた学習支援策を実践する。	①日本語活用能力に課題がある生徒を対象とした日本語教室や授業補助を行い、多文化共生推進員と連携した学習支援を進める。 ②個に応じた学習指導について、よりきめ細かい、生徒が相談しやすい学習環境を継続して行う。	①多文化共生推進員を活用し日本語活用能力に課題のある生徒への支援ができたか。 ②授業アンケート「授業の内容や先生の話を理解できていますか」が前年比向上したか。		
2	基本的な生活習慣やビジネスマナー、コミュニケーション能力などに課題のある生徒は多く、家庭環境や生活状況等要因は多い。家庭との連携と生徒指導の充実を図る必要がある。 感染症拡大防止による校内衛生管理を継続して徹底し、安心安全な学校環境を保つことが必要である。	家庭と連携協力した生徒指導、基本的な生活習慣の確立に取り組む。	①登校時の声掛け指導、個人面談等により生徒理解を深める。 ②家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立と、授業への出席率を向上させる。 ③スクールカウンセラーを活用した教育相談を充実させ、悩み相談や薬物に対する正しい理解を行う。	①教員による登校時の出迎えと挨拶指導ができたか。 ②欠課時数への対応による留年や退学をなくせたか。 ③スクールカウンセラーを活用した教育相談 や薬物乱用防止等の講演会を実施できたか。		
		感染症対策に必要な対策を継続して行い、安心安全な学校環境を保つ。	①登校時の手洗い、マスク着用、給食時のマナーを徹底し、衛生管理を行う。 ②主に語学系や体育及び実技授業における感染症拡大防止に努め、学習保障を確保する。	①感染症対策の習慣化ができたか。 ②感染症対策を施しながら学習計画通りの内容で授業展開できたか。		
3	学習意欲に課題があったり、進路意識が低かったりする生徒が多い実情を踏まえ、進路意識の向上と、進路決定することを諦めさせない指導の徹底をするとともに、人間性・社会性の育成に取り組む必要がある。 定時制の取組を中学生や保護者及び地域社会へ向けて積極的に発信し、理解を深める必要がある。	進路意識向上と進路選択にむけた支援に取り組む。	①就職支援アドバイザーを活用した進路実現のための支援を実施する。 ②ハローワークや若者サポートステーション等と連携し、個々の適性を踏まえた適切な進路選択と進路意識の向上に向けた支援を実施する。	①4学年生徒の卒業と進路が決定できたか。 ②学校アンケート「進路に係る情報収集をしているか」が前年比向上したか。		
		定時制の取組をHPで定期的に紹介し、中学生や保護者及び地域社会との理解と連携を深める。	①HPに学校の取組や生徒の様子を定期的に発信する。 ②感染症対策に関する学校の対応をHPやGoogle classroom等を利用して遅延なく発信する。	①定時制HPの更新回数が前年比増加したか。 ②学校アンケート「学校のホームページは分かりやすいか」が前年比向上したか。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	